

京都市指定管理施設

2022 年度
西京極総合運動公園北側区域
京都市体育館及び市民スポーツ会館
事業報告書

京都スポーツネットワーク

構成団体

公益財団法人京都市スポーツ協会

美津濃株式会社

イオンデイライト株式会社

近建ビル管理株式会社

—目次—

(はじめに)	1
1 事業の実施状況及び施設の利用実績	
(1) 事業の実施状況	1
(2) 施設の利用実績	5
2 経費の収支決算	6
3 公園施設及び設備機器等の維持管理	
(1) 主な修繕・メンテナンス実績	7
(2) 市内中小企業への発注	8
4 利用者ニーズの把握状況	
(1) 利用者ニーズの把握方法	8
(2) 利用者ニーズへの対応状況	8
5 その他	
(1) サービスの提供計画	8
(2) 災害等非常時の危機管理及び防災対応	9
(3) 利用促進の各種取組	9
(4) 環境の取組	9
(5) 公園の総合管理と活性化	10
(6) その他	11
6 管理運営業務の自己評価	11

(はじめに)

2022年度は、2020年度から続く新型コロナウイルスの影響が残る中でも徐々に制限が緩和され、平常状態への復帰に向けて取り組んだ1年となりました。

公益財団法人京都市スポーツ協会を代表団体とする当施設群については、美津濃株式会社と近建ビル管理株式会社、イオンディライト株式会社を加えた4社で共同事業体を構成し、以下の5つの基本理念をもって管理運営に当たりました。

基本理念 『魅力あふれるスポーツの場づくり』の継続実現に向けて

- (1) 安心・安全を第一とした管理運営
- (2) 公共スポーツ施設としての公平性と柔軟性を兼ね備えた管理運営
- (3) 関係団体との連携によるスポーツ振興や競技力向上を見据えた管理運営
- (4) 多様化する利用者のニーズに対応した管理運営
- (5) 施設の特徴を理解し、地域に密着した管理運営

1 事業の実施状況及び施設の利用実績

(1) 事業の実施状況

ア スポーツ教室

園内の各施設及び園路スペースを会場とし、子どもから高齢者まで、様々な市民を対象とするスポーツプログラムを提供し、施設の活性化を図りました。

【主な種目】 バドミントン、ソフトテニス、バレーボール、バスケットボール
フットサル、卓球、ランニング(ナイトラン)、健康教室(ヨガ他) 等

【参加人数】 延べ 21,178 人

イ スポーツ講座

広く市民を対象に、スポーツに親しむ「きっかけづくり」の事業として、多様な市民のスポーツニーズに応えるプログラムを提供するスポーツ講座を開催しました。

講座名	実施日	場所	参加人数
スポーツメンテナンス講座 ～スポーツ障害の 予防・再発防止に向けたアプローチ～	6月1日(水) 18:30～20:00	市民スポーツ会館 体育室	56名
スポーツ栄養講座 ～運動パフォーマンスを 効果的に引き出す食事～	8月2日(水) 18:30～20:00	市民スポーツ会館 会議室	48名
ランニング講座 ～初心者のためのランニングクリニック 長く走るためのコツを見つけよう～	12月18日(日) 13:00～15:00	たけびし スタジアム京都	64名
マラソン講座 ～フルマラソン挑戦者必見! 千葉真子氏から学ぶ～	1月7日(土) 13:00～15:00	たけびし スタジアム京都	89名

指導者養成講座 スポーツ教育学 ～豊かな人生につながる運動指導～	2月16日(木) 18:30～20:00	市民スポーツ会館 体育室	58名
-------------------------------------	-------------------------	-----------------	-----

ウ 第19回みんなのスポーツフェスタ

子どもから高齢者まで、幅広い年齢層が気軽にスポーツに親しめる機会を提供し、市民の健康増進とスポーツの普及・振興に寄与する事業を西京極総合運動公園で開催しました。

【実施日】 10月29日(土) 10:00～15:00

【参加人数】 約8,500名

会場	実施内容
京都市体育館	・テニス教室～プレイ&ステイ～ ・福澤達哉氏によるバレーボール教室
京都市体育館 2F 多目的スタジオ	・ビームライフル・ピストル体験会
市民 スポーツ会館	・フェンシング教室 ・車いすバスケットボール体験会
わかさ スタジアム京都	・野球能力測定会(スピードガン、遠投、ベースランニング、スイングスピード)
園路	BMX教室、スポーツ体験(弓道、ゲートボール、ペタンク、なぎなた、オリエンテーリング、アーチェリー、柔道、武術太極拳、スラックライン、ダブルダッチ、ノルディックウォーク)エコブース、プロブース(京都ハンナリーズ)京都マラソン・WMG関西ブース、マイナンバーカードブース

エ 施設一般開放(みんなのスポーツ広場)

利用率の低い時間帯に個人利用可能な時間帯を設定し、事前登録及び事前申し込み不要での個人利用を可能とし、気軽にスポーツを楽しめる環境づくりを行うため、施設を一般開放しました。

【場所】京都市体育館 【種目】バドミントン、バスケットボール

【実施】12回 【利用人数】延べ201名

オ 西京極さくら祭り

桜の開花時期に近隣地域の学区民や公園来園者を対象に交流の場をつくり、公園の活性化と地域に親しまれる公園づくりを目的に毎年実施していましたが、2022年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止としました。

カ お正月施設無料開放

京都市の条例で供用しない日と定められている年始期間に、市民に施設を無料で開放することにより、日頃施設を利用されている市民・団体のほか、地域住民へのサービス向上と新規利用者の拡大を目的に実施しました。

【対象施設】 たけびしスタジアム京都、東寺ハウジングフィールド西京極

【実施日】 1月2日（月）・3日（火）10:00～16:00

【利用人数】 延べ1,546人

キ スポーツイベント（ミズノ）

市民の体力の向上及びスポーツに対する興味・関心をもつ機会を与えるとともに、競技スポーツの専門的な知識を身につけることを目的に、幅広い年代に合わせたスポーツイベントを実施しました。

講座名	実施日	場所	参加人数
グラウンド・ゴルフ大会	6月1日（金） 9:00～16:00	東寺ハウジング フィールド 西京極	146名
サッカー大会	7月2日（土） 9:00～16:00	たけびし スタジアム京都	23チーム (229名)
走り方教室	7月18日（月祝） 9:00～12:00	たけびし スタジアム京都	31名
ランニング教室	7月31日（日） 9:00～12:00	たけびし スタジアム京都	3名
ランニングクリニック	11月18日（金） 19:00～20:30	たけびし スタジアム京都	3名
ミズノビクトリークリニック ハードルを中心とした実技指導 （講師：金井 大旺 氏）	3月19日（土） 13:00～15:00	たけびし スタジアム京都	12名

ク 京都市体育館2階多目的室の貸出事業

スポーツ活動団体に対し、京都市体育館2階多目的室の貸し出しを、引き続き実施しました。

【利用件数・時間】 32件 197時間

ケ 卓球スタジオの運営

たけびしスタジアム京都に併設する卓球スタジオでは、競技レベルに応じた卓球教室とフリー利用に活用しました。

コ 大規模大会開催のための物品保管スペースの貸出事業

わかさスタジアム京都における大規模大会開催時において、物品保管等を行う場所の提供に関する要望が、競技団体から多く寄せられていることから、全国規模の大会の円滑な運営をサポートするために、物品保管スペースの貸出事業を実施しました。

【利用団体】3団体

サ 大型映像装置操作サポート事業

専門的な知識が必要となる西京極総合運動公園内の大型映像装置について、専門スタッフを手配し、主催者の円滑な大会運営をサポートできる体制を構築しました。

シ 広告事業

施設の充実や各種スポーツ事業の実施などの財源確保のため、たけびしスタジアム京都及びわかさスタジアム京都において広告事業を展開しました。

ス スポーツ情報提供事業

(ア) 情報誌やホームページによる情報発信

当事業体の教室情報やイベント事業にあわせて、プロスポーツ団体の情報及び貴市の取り組み等を代表団体である公益財団法人京都市スポーツ協会の情報誌「ダッシュ！」に掲載し、積極的な情報発信に努めました。

また、公益財団法人京都市スポーツ協会及び美津濃株式会社のホームページやFacebook、Instagramで、施設利用方法やスポーツ事業などの情報を掲載し、施設の利用拡大や活性化につながる広報案内を行いました。

(イ) コミュニティボード設置

市民の健康増進と生涯スポーツの推進を図るため、一般のスポーツ愛好者やこれからスポーツをしようとする方の双方向コミュニケーションの場を提供することを目的に実施しました。

セ 自動販売機の設置

利用者にとって便利な場所に飲料の自動販売機を設置し、施設利用者の利便性を高め、利用者サービスの向上を図りました。

ソ 物品販売及び貸与事業の実施

利用者の利便性を高めるために、競技に必要な物品の販売及び貸与を実施し、サービス向上に努めました。

(2) 施設の利用実績

(利用率は、緊急事態宣言に伴う供用停止期間を除いて算出)

施設	2019		2020		2021		2022	
	件数	利用率	件数	利用率	件数	利用率	件数	利用率
たけびしスタジアム京都	103	28.4	33	24.2	121	26.3	149	34.2
東寺ハウジング フィールド西京極	122	42.9	85	24.7	142	44.0	159	44.3
たけびし (個人利用)	528		0		4,384		1,622	
東寺 (個人利用)	37,677		35,107		23,104		37,390	
わかさスタジアム京都	201	51.4	147	46.2	184	47.1	217	56.9
京都市体育館	642	73.6	568	57.5	590	67.1	586	76.6
市民スポーツ会館	3,413	89.6	3,158	83.8	3,000	80.8	3,867	91.3

※わかさスタジアム京都の利用件数は、雨天練習場のみの利用を含む。

2 経費の収支決算

2022年度		指定管理料	たけスタ	補助	わかスタ	市体	スポ館	合計
指定管理 収支	指定管理料	198,975,277	-	-	-	-	-	198,975,277
	利用料金収入(※)	-	46,753,435	12,693,050	48,540,515	78,674,055	13,799,095	200,460,150
	その他収入	-	-	-	-	-	-	0
	指定管理収入合計	198,975,277	46,753,435	12,693,050	48,540,515	78,674,055	13,799,095	399,435,427
	人件費	-	64,752,628	5,507,831	44,212,470	24,542,944	44,473,700	183,489,573
	通信費	-	345,889	42,006	273,768	53,592	195,221	910,476
	備品費・消耗品費	-	8,314,669	104,235	3,631,766	1,175,883	1,102,922	14,329,475
	修繕費	-	5,674,979	1,677,500	1,964,061	1,332,100	3,919,300	14,567,940
	燃料費・光熱水料費	-	13,492,205	318,651	6,497,575	30,467,984	21,998,055	72,774,470
	保険料・租税公課	-	191,684	16,800	84,120	22,820	19,290	334,714
	外部委託費	-	42,586,081	12,046,496	22,946,387	10,493,058	9,152,103	97,224,125
	その他物件費	-	8,737,748	1,430	221,617	453,820	58,668	9,473,283
	指定管理支出合計	0	144,095,883	19,714,949	79,831,764	68,542,201	80,919,259	393,104,056
	指定管理収支	198,975,277	△ 97,342,448	△ 7,021,899	△ 31,291,249	10,131,854	△ 67,120,164	6,331,371
その他 収支	事業収入(その他)	-	7,284,049	0	0	29,886,272	3,550,968	40,721,289
	その他収入合計	0	7,284,049	0	0	29,886,272	3,550,968	40,721,289
	人件費	-	1,598,756	0	0	2,664,594	1,065,837	5,329,187
	外部委託費	-	5,293,875	0	0	8,828,057	3,531,252	17,653,184
	その他事業経費	-	5,856,898	29,330	2,943,783	9,460,528	7,208,658	25,499,197
	その他支出合計	0	12,749,529	29,330	2,943,783	20,953,179	11,805,747	48,481,568
	その他収支	0	△ 5,465,480	△ 29,330	△ 2,943,783	8,933,093	△ 8,254,779	△ 7,760,279
	事業収入(物販)	-	3,521,400	1,228,965	3,820,262	3,451,089	1,666,001	13,687,717
	物販収入合計	0	3,521,400	1,228,965	3,820,262	3,451,089	1,666,001	13,687,717
	人件費	-	1,524,656	556,458	1,129,375	1,129,375	2,149,375	6,489,239
	外部委託費	-	0	0	0	0	0	0
	その他事業経費	-	4,206	74,170	0	0	667,550	745,926
	物販支出合計	0	1,528,862	630,628	1,129,375	1,129,375	2,816,925	7,235,165
	物販収支	0	1,992,538	598,337	2,690,887	2,321,714	△ 1,150,924	6,452,552
収支差額合計	198,975,277	△ 100,815,390	△ 6,452,892	△ 31,544,145	21,386,661	△ 76,525,867	5,023,644	

3 公園施設及び設備機器等の維持管理

良好な環境衛生や美観の維持、さらに安全かつ快適な空間を保つための適切な施設・設備・植栽などの維持管理に努めながら、市民が「安心・安全」に施設を利用できるよう、建物や設備機器を管理しました。

たけびしスタジアム京都の芝生の排水改善や、東寺ハウジングフィールド西京極の散水管修繕など、各施設の一部では、貴市による緊急改修等が2022年度に実施されましたが、その他の設備機器類については経年劣化が進んでおり、予防保全を基軸とした各種点検・メンテナンスを進めながら、施設・設備の長寿命化対策や機能改善工事、安全対策工事を実施しました。

(1) 主な修繕・メンテナンス実績

たけびしスタジアム京都

乗用芝刈機(リールモア)アジャスター修理・リール刃研磨、緊急修理
消防設備改修(屋内消火設備・感知器・発信機)、観客席スピーカー更新、
大型映像装置対応(雨漏り調査・盤裏漏水用排水管設置、螺旋階段・扉塗装修繕)
高圧受変電設備機器更新、観客席ラベル修繕、排気ファン更新。陸上競技備品修繕

東寺ハウジングフィールド西京極

タータン膨れ対応、散水ポンプ整備、散水管切り離し・バルブ新設工事
多目的トイレフラッシュバルブ取替、倉庫棟排水ポンプ整備

わかさスタジアム京都

照明塔A・D・F不点灯箇所調査点検、E塔絶縁不良点検修繕、旗ポールロープ取替
消防設備改修(感知器、補給水槽弁類取替)、クッションフェンス部分修繕
エキスパンションジョイント修繕、会議室3雨漏対策、3塁雨天練習場排水管修繕

京都市体育館

アリーナ照明用分電盤ブレーカ取替工事、エレベーター2基劣化部品更新
バスケットゴール3対点検・修繕、器具庫建具修繕、消防設備改修(感知器)

市民スポーツ会館

消防設備改修(泡消火ポンプ性能試験装置・配管、感知器、ダンパー他)
男女更衣室シャワー用給湯器更新、コインシャワー設備修繕
吸収式冷温水機ガス遮断弁更新、冷却水配管修繕、天神川ゲート監視カメラ更新
バスケットゴール1対点検・修繕、2F南ロビー高天井非常照明更新

西京極総合運動公園 園路・中央電気室

園内照明増設工事、防災監視盤移報信号出力及び取込改修工事(各施設)
Aトイレ前園路埋設配管漏水調査・部分修繕、園内放送スピーカー更新
西側出入口前園路灯取替修繕、陸上競技場前時計塔点検

(2) 市内中小企業への発注

京都市公契約基本条例に即して、法令上の制限や、専門的な能力を有する者に発注する必要がある場合、その他特別の事情がある場合を除き、京都市内中小企業への発注を行いました。

2022年度 市内中小企業発注比率：92.9% (91/98件)

4 利用者ニーズ等の把握状況

利用者ニーズを踏まえ、京都市体育館2Fスタジオの貸し出しや、たけびしスタジアム京都の会議室を有効活用した卓球スタジオの運営などを、引き続き実施いたしました。

大規模な競技大会等を開催する際は、審判や競技役員、報道機関等の関係車両の臨時的駐車スペースを園内に設けて対応しています。特に、全国高校駅伝など全国規模の競技大会については、主催者からの要望を受けて、供用時間外である早朝から施設を開けるなど、円滑な大会運営をサポートしました。

5 その他

(1) サービスの提供計画

ア 公平なサービスの考え方

当施設は、広く市民が利用できることのほか、各種競技団体が開催する大会等の利用があり、スポーツ振興の観点を大切にしながら、以下の5つを基本としてバランスのとれた質の高いサービスを提供するように努めました。

【基本方針】「サービス」「参加」「活動」「施設提供」「施設利用」の公平性

イ 効率的職員配置

常に利用者サービスの向上を念頭に置いて、有用な人材を適所に、効果的・効率的に配置し、施設を運営しました。

必要な職員数を確保し、無駄を省いて弾力的に配置しつつ、競技大会開催時や施設メンテナンス時には職員を重点的に配置しました。

ウ 職員の育成・研修体制

競技環境や利用者サービスのさらなる向上を目的として、外部団体が実施する研修会への参加（リモート研修を含む）や、市民対応・施設管理技術のスキルアップ研修並びに勉強会を実施しました。

【内 容】 接遇マナー・クレーム対応研修、
ハラスメント研修、WEB 広告戦略セミナー、
DEI 推進男性の育休取得実現研修、
個人情報保護・セキュリティ研修、
上級施設管理士・スポーツ施設管理公認資格更新研修、
京都府体育・スポーツ施設管理者講習会

(2) 災害等非常時の危機管理及び防災対応

ア 防災訓練等の実施

万が一の災害に備え、利用者の安全確保を第一優先に、迅速かつ的確な指示ができるよう、スタッフ研修・訓練を実施するとともに、関係団体・機関との緊急連絡体制の相互確認を行いました。

イ 熱中症の対応について

利用者への水分補給等、熱中症対策についての声掛けや掲示物による注意喚起を積極的に行い、利用者自身の体調管理に関する意識啓発に向け、各施設にも経口補水液を常備することで、より安全なスポーツ・レクリエーション活動をサポートしました。

ウ 雷対策について

屋外施設については、雷警報機(ストライクアラート)を備え、利用者への無料貸出を積極的に行い、安全に施設利用できるようサポートに努めました。

エ 新型コロナウイルス感染症防止対策について

スポーツ庁や京都府発出のガイドラインや貴市の定める対策方針等に従い、適切な施設運営に努めました。アルコール消毒液や次亜塩素酸水を配備し、屋内施設においては適宜換気を行うなど安全衛生に努め、新型コロナウイルスの感染予防及び拡大防止に取り組みました。

(3) 利用促進の各種取組

各スポーツ施設や会議室、園路等を会場に、様々な種目のスポーツ教室・イベントを通年で開催し、施設の利用拡大と活性化に積極的に取り組みました。

また、市の承認をうけ、京都市体育館において、教育機関を対象としてスポーツ以外の多目的利用ができるよう申込条件を整備し、市民サービスの向上を図りました。

(4) 環境の取組

ア KES STEP1 認証取得

環境マネジメントシステム・スタンダード KES STEP1 の認証を 2009 年 7 月 1 日に取得し、様々な環境改善活動に取り組んでいます。

施設スタッフが日常的に省エネルギー対策に取り組み、節水やこまめな消灯を徹底し、利用者の協力が必須になるゴミの持ち帰りや省エネルギー等の取組については、声掛けやポスター掲示等を行い、ご理解・ご協力を得ながら取り組みました。

イ エコステーションの設置 (市民スポーツ会館へ集約)

(ア) テニスボールのリユース活動 (新型コロナウイルスの影響により上期は自粛)

(イ) ペットボトルキャップのリサイクル

- (ウ) 使用済み乾電池の回収
- (エ) 紙パックの回収
- (オ) 小型家電の回収
- (カ) リユースびんの回収
- (キ) てんぷら油の回収
- (ク) 蛍光管の回収

ウ 落ち葉の堆肥作り

スポーツ施設としての一面だけではなく、緑豊かな公園施設としての面を持ち合わせている当施設の総合管理の一環として、公園内の落ち葉を堆肥としてリサイクルし、参加型スポーツイベント「みんなのスポーツフェスタ」の環境 PR ブースにおいて希望者に配布しました。

エ 雨水タンクの設置

環境への取り組みの一環として、花の水やり、災害時等の非常用として活用できる雨水タンクを、市民スポーツ会館の玄関横に設置しています。

オ 電気自動車充電設備の配置

京都市体育館の第1駐車場において、電気自動車充電設備を設置し、環境にやさしい最先端の取組を、貴市と連携し行いました。

(5) 公園の総合管理と活性化

ア 公園の総合管理

西京極総合運動公園については、有料スポーツ施設の周辺に、散歩等ができる園路が整備されており、市民の憩いや触れ合いの場として利用されているところです。また、多くの方が、犬の散歩に当公園を利用されており、マナー向上と公園美化活動の一環として、犬のフンを投入できるエチケットポストを設置、運営しました。

また、市民や施設利用者には、安全・安心で、快適に公園をご利用いただくため、園内の照明設備や舗装路をはじめ、植栽・樹木等を適切に維持管理し、公園の総合管理と活性化に努めました。

イ 健康遊具・屋外バスケットゴールの設置

当公園の園路スペースに、貴市の承認を得て、健康遊具とバスケットゴールを設置して、公園スペースの有効活用を図りながら、市民の健康増進の場づくりを行っています。

ウ ラジオ体操の音響設備の設置

これまで利用者がラジカセ等を持参してラジオ体操を実施されていたため、その手

助けとして音響設備を設置し、毎朝 6 時 30 分にラジオ体操の音楽を流して、多くの皆様にご利用いただいています。

エ 有料駐車場運営事業

本会が管理している有料駐車場（西京極第 3・第 4 駐車場）について、民間駐車場会社が貴市と契約して運営する西京極第 1・第 2 駐車場と一体的に管理を行うことで、公園利用者や周辺住民の利便性を高めて利用者サービスの向上を図りました。

(6) その他

ア 施設周辺の清掃活動（地域清掃活動）の取組

施設の内側以外に周辺区域の美観を保つために、周辺に落ちているゴミを拾う清掃活動を毎月 1 回実施しました。

イ 「歩くまち京都」の推進

公の施設のスタッフであるという自覚を持ち、「歩くまち京都」を推進し、当事業体のスタッフの通勤は可能な限り電車やバス等の公共交通機関を利用した通勤に努めました。

ウ 就業体験等の受け入れ

近隣の教育機関と連携した就業体験や、社会見学等の要望があれば積極的に受け入れる体制を取りました。

中学生の就業体験（チャレンジ体験）：蜂ヶ丘中学校、山科中学校、太秦中学校

6 管理運営業務の自己評価

2022 年度は、2020 年度から続く新型コロナウイルスの影響が残るなか、施設利用及び事業実施環境としては徐々に回復していく中での管理運営となりました。

天然芝を敷設している 3 施設については、陸上トラックや内野黒土フィールドなどとあわせて芝を良好に保てるよう維持・管理し、経年劣化が進むその他の施設や設備については、安心・安全の確保の観点から計画的な小修繕をこまめに実施し、長寿命化を図りました。また、大型電光掲示盤や得点表示盤等の特殊機器については、製造・販売メーカーによる点検を実施することにより、常に最適な管理状態で利用者に提供できるよう努めるとともに、施設スタッフの操作研修を実施しスキルアップを図り、大会主催団体へのスムーズな案内に繋げるなど、サービス向上に努めました。

新型コロナウイルスの影響が残る中での施設運営となりましたが、各施設の利用件数や利用率は比較的順調に回復し、指定管理収支は黒字決算で終えることができました。

市内中小企業への発注比率については、目標達成のため共同事業体とも情報共有を密に取り組み、92.9%と目標の 90%以上を達成することができました。第 5 期も一層の利用者サービスの向上に取り組み、効率的な管理運営に努めてまいります。